

「表現力UP！読書感想画の指導」 講師：佐世保市立宮小学校 教諭 中島一樹

【準備】

・30名参加予定だったので机16台（1台は講師用）、椅子35脚、プロジェクター、ホワイトボードを用意。（パソコンは講師が持参）

・水場が少なかったため、絵具を使用するときのために、使い捨てパレット人数分、水を入れたペットボトル15本、ティッシュ15個、バケツ、ビニールシート、新聞紙等を用意。

【分科会の様子】

1 感想画指導で身に付けることは

2 読書感想画指導の流れ（その1）

ウォーミングアップ→

めあてづくり→本選び→

主題の決定→下絵の描かせ方



ウォーミングアップでは、言葉から想像して自由楽しく描くことを体験させる。参考作品を見せて「こんな風に書きたい」というめあてを作ることが大切。地平線をなくし、目線、大きさ、背景などで思いが伝わるよう工夫しながら下絵を描いていく。

イメージブラッシュアップシート 名前()

① 本を読んで、頭の中に広がったイメージをもとに、自分の表したいイメージを整理しよう。

本の題名： _____

作者： _____

② 一番表したい場面や気持ち(pあたり) _____

③ 一番表したい感じ(迫力満点、温かい心のつながり、襲ってくる恐怖など) _____

④ 物語に出てきた登場人物、動物、アイテムなど _____

⑤ 下絵 _____

3 演習（その1）

「下絵を描いてみよう」→お互いに見せあおう

4 読書感想画指導の流れ（その2）

採色→縁取り→仕上げ

彩色は、12色の色相関図を見せて、同系色、補色を意識させる。混色が基本。縁取りはいろいろな方法があるが、太さの調節ができる筆ペンがおすすめ。仕上げとしては、スパッタリング、スクラッチング、テクスチャの描き込み、色鉛筆や光の描写などで、絵の密度をあげていくとよい。



5 実習（その2）

「色を塗ってみよう」→お互いに褒め合おう

6 読書感想画指導の流れ（その3）

振り返りを大切に「今回、できるようになったこと、大切にと思ったことはどんなこと？」

